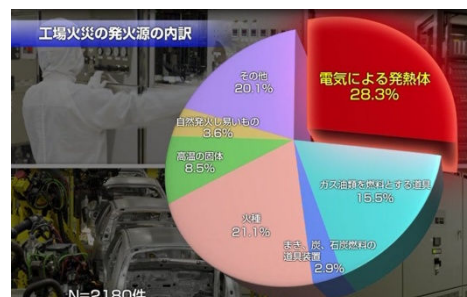


# 単独型煙検知器 F1H

- ・製造装置や電源盤の異常（発煙）を検知し、火災を未然に防ぎ、製造製品の品質を守ります。
- ・火災による損害は年間約 1,100 億円におよびます。この実損だけではなく、企業は社会的にも信用を失っています。予防保全とは、大きな損害を少ないコストで未然に防ぐ考え方です。
- ・装置本体の性能とは関係なく、使用環境の悪化や寿命によって異常は発生します。高付加価値化とは、装置全体の信頼性を保障して高品質な製品作りをすることで、装置の自己診断機能の一部として F1H を組み込みます。



## 高密度化する装置内の潜在リスクを最小限に抑える F シリーズの特徴

万が一装置火災が発生すると装置の損傷はもとより、操業停止による経済的損失、企業イメージの低下等大きなダメージを受けます。

超小型の煙検知 F シリーズは重要な装置 (システム) を火災から守ります。

装置内部の異常を検知し火災を未然に防ぐ事を目的に小型化したことで、これまで設置出来なかった狭い場所、特に装置内部の火災早期発見が可能になりました。

### 超小型

外形わずか  $\phi 28\text{mm} \times 67\text{mm}$  の世界最小クラス。  
従来では設置出来なかった狭い装置内部にも設置可能。

容積比 **1/10** 取付面積比 **1/16**



### 超高感度

一般的に使用します光電式スポット型煙感知器2種 (減光率 10%/m) に対し最高 100 倍の超高感度。0.1%/m ~ 10%/m の範囲で選ぶことができます。

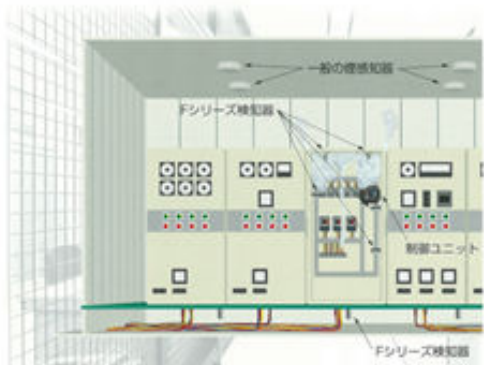
又超高感度の性能を活かし、クリーンルーム内であってはならない電源部等の異常をいち早く捉える事が可能です。

最高感度 0.1%/m では肉眼ではほとんどわからないくらいの煙粒子 (可塑性剤等) が出るレベルになります。

発煙片を用いた煙濃度 (減光率 %/m) の推移 (当社実験室にて)



## 超小型装置専用F1Hの有効性



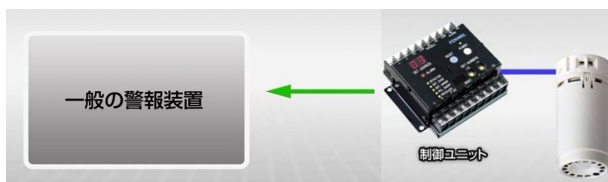
- ・検知器は発煙・発熱源の直近(装置内)に設置します。
- ・高感度煙検知器は、わずかな発煙でも検知します。
- ・煙が発生しても装置内・盤内にこもります。また、わずかに室内に盛れる煙も拡散され、天井についている一般の感知器では感知できません。

### 受信機不要

### 無駄なく使えて経済的に優しい



- ・スタンドアロン方式の単独型煙検知器は、一ヶ所だけを監視したい場合には、制御ユニットが不要となる為、大幅なコスト削減が可能となりました。
- ・DC電源 10~30V(ワイドレンジ)を繋ぐだけで即監視可能、又、アラーム、トラブル時の接点もご自由に選べます。(接点はフォトモスレーを使用)
- ・感度も 01%/m~10%/mまでお客様の使用環境に合わせて選べます。



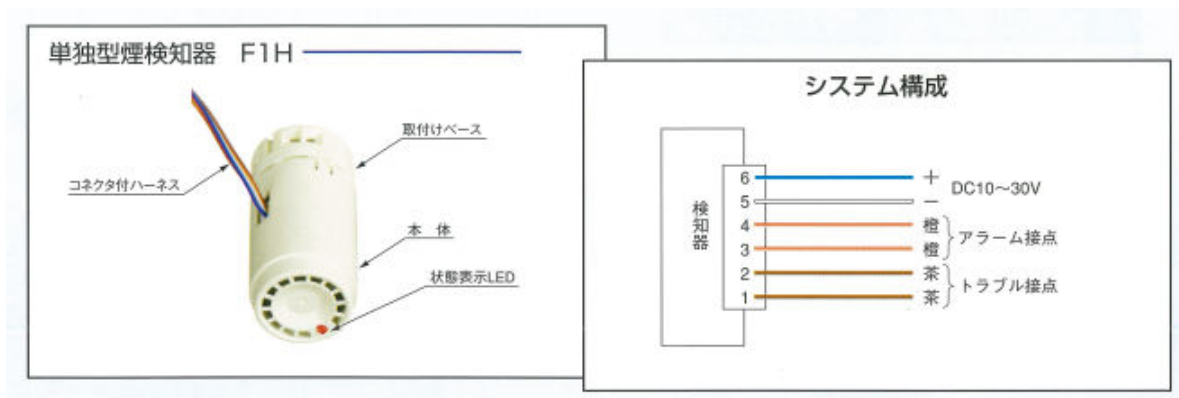
F11での組み合わせ例

制御ユニットが不要  
の為、コストが大幅  
に削減致します



F1H

## 機器紹介



## 主な設置事例

